

備後教区報

E-MAIL: paper@bingo.gr.jp

発行所

〒720-0052
福山市東町 2-4-5
本願寺備後会館内
教区報専門委員会
TEL (084) 924-5759
FAX (084) 931-9323

発行人

教務所長 高田英彦

会館報恩講 盛大に勤まる



遠近各地より多数のご参詣、まことにありがとうございます。

九十歳僧侶表彰 鴨川 正覚寺 沼隈南 善正寺 御調東 大通寺 世羅 法泉寺 世羅 善行寺 眞澄 瑛哲 那須 英龍 大淵 光江 毛利 八ナヨ 竹政 信行		住職在職五十年表彰 (敬称略) 芦田 西法寺 龜山 義照		住職在職三十年表彰 (敬称略) 中 融玄寺 園井 孝顕 深津 法真寺 生駄 浩蔵 沼隈南 宝光寺 明石 光磨 比婆 金秀寺 西本 法照 御調東 法光寺 季平 博道 御調西 善教寺 小島 文章 世羅 正満寺 島津 恵心	
--	--	---	--	---	--

参詣者 百三十八名	出勤 芦田組・比婆組	講題 「死ぬ人生を生きる」	講師 豊島学田師	場所 本願寺備後会館 中央仏教学院講師	日時 十一月三十日(火)
---------------------	----------------------	-------------------------	--------------------	----------------------------------	------------------------



芦田 昶 明浄寺 住職
立神 義昭 師

お慈悲の 貯金箱

我が家には現在高校二年生になる双子の兄弟と、中学三年生の、三人の息子がいます。

今から十年ほど前のことです。双子の兄弟が、小学校に入學して間もない頃のことでした。学校から帰ってきた次男が「おなか痛い」と言い出ししました。さっそく近くの病院で診察してもらおうと「盲腸」とのこと。即入院・即手術ということになりました。手術自体は、簡単な手術で時間もかからず終わりましたが、退院するまで一週間かかりました。入院して二日ほどして、長男と一緒に病院に

見舞いに行った帰り道、長男が、「お父さん、僕も盲腸になりたいな…」とぼつりと小さな声で言うのです。「どうして？」と聞くと、「だって、盲腸になって入院すると、いつもお母さんと居られるもん」という答えが返ってきました。たぶん、学校を休めるから、という単純な答えだろうと、思っていました。父親として返す言葉もなく、家路についたのを今でも憶えています。母親に甘えたい、独り占めしたい、という正直な気持ちだったんだらうと思います。

最近の少年犯罪に関して、法務省大阪矯正管区医療分類課長の青木宏さんが、新聞のコラムに次のように述べておられました。

少年院収容者の半数以上は、家族から暴力や性的虐待を受けた経験があり、「彼らの『愛情の貯金箱』は驚くほど少ない」と話されます。「普通は親から無条件に愛情を注がれ、その貯金箱には何万円もの蓄えがある。嫌なことがあってもその蓄えを使って生きていけるし、自分の価値も信じていける。日常の小さなトラブルで費やす『愛

情の貯金箱』は、たかが十円か二十円にすぎない。しかし彼らは最初から十円しか持っていないのだ。毎日十円でも二十円でもあげ続けて、決して見捨てないことが安心感を生むのではないか。貯金がなくなつた時、彼らは自分を守ために誰かを攻撃するのかもしれない。

先生の話を通し、阿弥陀さまのお慈悲の心を頂いたことです。阿弥陀さまは、「あなたがどんな心を起こそうが、どんな言葉をお口にしようが、どんな姿になつていこうが、あなたを決して、見離しはしません、見捨てはしません」と、常に我が身を抱きとって下さっています。阿弥陀さまのお慈悲は、「如来無蓋の大悲をもつて三界を矜哀したまふ」と大経に説かれています。無蓋ということは、蓋がない、と言うことです。常に私に注ぎ込まれているのがお慈悲のお心です。私は、素直に阿弥陀さまのお心を受け取らせて頂くばかりです。お慈悲の貯金箱を持たせて頂き、いっぱいになつた貯金箱からあふれ出たお慈悲が、我が口から「南无阿弥陀仏」のお念仏と成つて下さるのではないのでしょうか。

教区会よりご報告

備後教区会議長 藤井徳行

十月七日(木)午後二時より、本願寺備後会館本堂において、臨時教区会を開催いたしました。このたびの議案は、財務承認議案五件及び承認議案一件でありました。財務承認議案は、2003(平成15)年度備後教区各種歳計決算(決算書別紙)を満場一致で承認頂いたことでもあります。

また、承認議案(下記記載)につきましては、三月の定期教区会で区令承認した「備後教区護持口数調整委員会設置規則」に基づき同委員会で調整された、教区内各組の本山護持口数を承認いたしました。永年懸案事項でありました本山護持口数につきましては、昭和48年よりの改定であり、今後各組で各寺院の調整をお願いいたすことではありますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

本山護持口数変更

組番号	組名	護持口数	組番号	組名	護持口数
01	備中里	620	09	芦田	1,553
02	中	152	10	神石	352
03	奥	600	11	三谿	891
04	深津	1,768	12	比婆	922
05	鴨川	683	13	三次	2,008
06	鴨川北	243	14	御調東	1,860
07	沼隈西	1,740	15	御調西	1,154
08	沼隈南	1,200	16	世羅	1,324

合計 17,070

新しい教区会議員のご紹介
(敬称略)

芦田組 僧侶議員
山名淳晃(西圓寺住職)

世羅組 門徒議員
重末博文(明善寺門徒)

各組から右記の方々をご選出いただきました。何卒よろしくお願い申し上げます。



今年で三度目!!
ボーモリーズ緩和ケア病棟訪問

十二月十三日(月)、今年で三度目となるボーモリーズの三愛病院緩和ケア(終末期医療)病棟訪問。新曲をたずさえ、仏教讃歌・童謡・唱歌など披露しました。

はじまる前は患者さん達はまばらでありましたが、いざコーラスが始まり、すばらしい歌声を病棟中に響かすと、次第に患者さんや、その家族の方も集まりだし、最後には看護師・先生も来られて、たくさん拍手のもと、数多くのあたたかい言葉をいただきました。

握手を求められたり、アンコールの声など患者さんの引止めてくださる姿を見て、後ろ髪をひかれながら、ボーモリーズ一同「また来年も!」と深く胸に誓われ病棟を後にしました。

●教区賦課基準等調整委員会からのご報告

2002(平成14)年三月の教区会において、教区の賦課金を見直さなくてはならないとの意向の下に、教区護持口案に賦課基準調整委員が充足して、三年近くになるうとしている。

賦課金調整の主目標は、一つにここ数年、教区財政が厳しい状況にあったこと、二つには昭和48年に苦勞して決められた教区費の寺院負担金が、三十数年間調整されず、そのままの護持口数という不明確な基準にのっとって来たため、組間、寺院間で不公平感が強まって来たという、この二つのことを解決しようとのねらいであった。委員会では、護持口数という、あいまいな数字よりもまず、各寺院の経済力の基礎となる門徒戸数を調査しようということになった。

第一回目の調査は、2003(平成15)年二月に行われた。その結果、これまで申告されている門徒戸数が25,896戸であった所、この度は36,937戸となり、42%増という成果をおさめた。しかし、委員会ではこの申告も亦、実態にそっていない。まだ、実態にそった門徒戸数が出ていないとの意向が強く、第二回目の調整を2003(平成15)年十二月に行うことになった。その結果、教区全体で、40,463戸の申告をいただくことになった。実に56%の増である。それでもまだ、組による取り組みの差、寺院間の申告の差等が指摘された。正直者が損をするとの意見もあった。

しかし、現段階で再々度調査してもよい結果が得られるとはいえないこと。各組々長への負担が著しいこと。正直者が損をするのではなく、正直者が胸はっていこうとの総意に添い、第二回目の申告を基にして、賦課金を決めることとした。

さて、最終的な賦課金の算出にあたっては、国が出している地域別所得格差指数を、門徒戸数に由来して、地域差を配慮した。又、門徒戸数が全体として増えたため、門戸一戸あたり、100円、又は150円を乗算したものを、寺院負担金の基礎とした。なお、算出式については下記の通りであり、合計金額を教区賦課金とするものである。

《賦課金算出式》

1. 基礎点数×4,000円
【基礎点数とは、当該年度の賦課点数より護持口数の点数分を差引いた点数】
(例 賦課点数30.0点－護持口数点数分2.5点＝基礎点数27.5点)
2. 門徒戸数報告数×100円(150円)×所得格差
3. 信徒・化境数報告数×0.25×100円(150円)×所得格差
【0.25を乗算する事は、信徒・化境数4戸で門徒戸数1戸とするため】
4. 僧侶数×2,000円【所属僧侶に一律2,000円を乗算】

また、発足時の格差是正にどれだけ、応えられたかは、心もとないけれど、これだけの門徒戸数の申告があったこと、そして、この方向が4年後の調整の時、生かされるであろうことを願い下記の付帯条項を添えて、この度の答申をまとめた。

付帯条項

1. 本答申に基づく賦課基準決定の(教区会決議後)四年後に再調査
本委員会の任期は平成18年度(平成19年3月31日)までであるので、次の委員会(任期平成19年4月1日から平成23年3月31日)に門徒戸数の報告依頼調査を平成19・20年度に実施、平成21年度より新しい教区賦課基準規程の施行を求める。
2. 四年後には門徒戸数等を公開する
3. 四年後の門徒戸数等の報告書には、代表役員(住職)並びに責任役員(門徒)・門徒総代2名の署名捺印を頂く
4. 四年後の再調査までは、門徒戸数の増加申請は受けつける
5. 四年後は門徒も含めた委員会構成
6. 『所得格差』は四年間据え置き

最後に、私たちの寺院が、教団教区の充実発展のために門徒戸数を実態どおりに申告いただき、その数を基として、門徒戸数の多い寺は、その分だけ多く、門徒戸数の少ない寺は、それ相応に賦課金を分担していただけるよう願っております。

2004(平成16)年11月8日 備後教区賦課基準等調整委員会 委員長 季平恵海

備後教区台風被害義援金

今夏、備後教区内、台風によって被災された皆様方への義援金をお願い申し上げましたところ、下記の通り（12月17日現在まで到着分）たくさんの善意が寄せられました。ご協力の程、心より御礼申し上げます。

世羅	照光寺
世羅	浄楽寺
世羅	正蓮寺
教務所	高田英彦
	北海道教区
	仏教婦人会 総連盟事務局
	備後教区 布教団
	備後教区 仏壮連盟
	ビハーラ備後

(順不同)

教区内、床上浸水(106件)

の被害に遭われました皆様方へ
お見舞い金としてお送り致しました。

(十二月十七日現在)

御調西	法泉寺
御調西	順勝寺
御調西	正明寺
御調西	龍見寺
御調西	御調西組 仏教婦人会
御調西	光徳寺
御調西	専光寺
御調東	無量寺
御調東	青松寺
御調東	法光寺
御調東	照善寺
御調東	最円寺
御調東	永正寺
御調東	福善寺
御調東	円龍寺
御調東	尊光寺
御調東	大通寺
世羅	円超寺
世羅	教専寺
世羅	明善寺
世羅	上能寺
世羅	円流寺
世羅	善仁寺
世羅	西照寺
世羅	了安寺
世羅	真徳寺
世羅	真行寺
世羅	浄鏡寺
世羅	光源坊
世羅	法泉坊
世羅	光永寺
世羅	善正寺
世羅	専光寺
世羅	弘願寺
世羅	正満寺
世羅	善行寺
世羅	明讃寺
世羅	興学寺
世羅	西教寺
世羅	照明寺

神石	正善寺
神石	正善寺門徒
神石	光徳寺
神石	泉正寺
神石	泉正寺 仏教婦人会
三谿	明玄寺
三谿	立泉寺
三谿	照善坊
三谿	善徳寺
三谿	法専寺
三谿	明覚寺
比婆	勝光寺
比婆	明正寺
比婆	禅仏寺
比婆	金秀寺
比婆	在安寺
比婆	光縁寺
比婆	徳了寺
比婆	西林坊
比婆	西念寺
比婆	円光寺
比婆	仏教婦人会
三次	真光寺
三次	法正寺
三次	専法寺
三次	源光寺
三次	円勝寺
三次	常順寺
三次	覚善寺
三次	安養寺
三次	浄伝寺
三次	西覚寺
三次	照円寺
三次	浄念寺
三次	東光坊
三次	大願寺
三次	光西寺
三次	西光寺
三次	西光寺 護持会
御調西	浄楽寺

鴨川	正覚寺
鴨川	浄光寺
鴨川	泉龍寺
鴨川	西蓮寺
鴨川	興学寺
鴨川	金蔵坊
鴨川	願正寺
鴨川北	照専寺
鴨川北	宝泉寺
鴨川北	泉蔵坊
鴨川北	光明寺
鴨川北	円福寺
沼隈西	浄泉坊
沼隈西	浄泉坊 護持会
沼隈西	光満寺
沼隈西	堅中寺
沼隈西	西明寺
沼隈西	西明寺 仏教婦人会
沼隈西	萬福寺
沼隈西	西法寺
沼隈西	福照坊
沼隈西	万福寺
沼隈西	最明坊
沼隈南	宝光寺
沼隈南	善行寺
沼隈南	法輪寺
沼隈南	宝福寺
沼隈南	南光坊
沼隈南	勸正坊
芦田	願成寺
芦田	光円寺
芦田	慶照寺
芦田	西教寺
芦田	長泉寺
芦田	西法寺
芦田	徳円寺
芦田	西円寺
芦田	明浄寺
芦田	光明寺

備中里	浄心寺
備中里	報恩寺
備中里	専教寺
備中里	教善寺
備中里	高運寺
備中里	本林寺
備中里	蓮乗寺
備中里	大円寺
備中里	地福寺
備中里	願興寺
中	香積寺
中	南林寺
中	徳善寺
中	蓮通寺
中	光福寺
中	西明寺
中	辻之坊
奥	永宝寺
奥	大宝寺
奥	仏源寺
奥	正善寺
奥	本教寺
奥	善教寺
奥	教蓮寺
奥	増福寺
奥	光伝寺
奥	浄福寺
奥	正玄寺
深津	光荣寺
深津	真福寺
深津	法真寺
深津	法真寺 仏教婦人会
深津	正善寺
深津	誓蓮寺
深津	専光寺
深津	光善寺
深津	光円寺
深津	信行寺
鴨川	福泉坊
鴨川	福泉寺

仏婦・寺婦基幹運動運動研修会

日時 十月二十八日(木)
 場所 本願寺備後会館
 講師 中央基幹運動推進相談員
 四州教区飯山北組光耀寺
 橋本朗仁先生
 講題 「歓喜信受」
 ～よろこびと感謝の生活～

八十六名の参加のもと、仏教婦人会と寺族婦人会合同で、午前は基調講演、午後からは班別討議。全体会では各班からの発表が行われた後、まとめをいただきました。

若婦人研修会

日時 十一月二十日(土)
 参加者 一〇八名
 十一月二十一日(日)
 参加者 六十名
 場所 本願寺備後会館
 講師 安芸教区山県太田組正覚寺
 清胤祐子先生
 テーマ 私にとつての浄土真宗
 講題 「あなたにあえたから」

両日併せて一六〇名以上の参加のもと、若婦人研修会が行われました。

この度は今年度より活動を始めた若婦人専門委員会の企画運営で開催されました。子どもさんも一緒に参加をご案内したところ〇歳児から十歳までのお子さんか両日で十六名おこしになり会館ロビーへチャイルドスペースを設けての初めての試みとなりました。

午前は先生より基調講演をいただき、午後からは班に分かれて班別討議。全体会では各班からの発表が行われた後、まとめをいただきました。



会場に子どもさんの声が響く今までにない和やかな雰囲気の研究会がもたれました。

「若婦研修を終えて……。」
 二〇〇四十一月二十、二十一日の教務所は……(いつもと違って……?)
 玄関を入ると：木馬にジャングルジム、可愛いおもちゃ……そして優しい音楽。 あったか、ほんわかムードのロビーです。

販売コーナーも講師の清胤祐子先生のご本、式章に式章入れと、立ち寄って求めてくださる方も多かったです。
 ちょっと心配していたグループディスカッションも、研修テーマ「あなたにあえたから」の裕子先生のお話し感動のまま、一人ひとりが自分さ

がしのきっかけとなる意見を出して下さいました。「こんな思いで活動をしていらっしやるとは……」など私たちの知らなかったこと、気づかなかったことに出会うことができました。また、常任委員の皆さまには朝早くより2日間にわたって駐車場の案内、キッズコーナーのお世話を助けて頂きありがとうございます。感謝です！参加者の皆さん、先輩仏婦の皆さま、教務所の先生方、ほほえみの会、みんな笑顔でがんばった2日間でした！これからも、出会えた仲間とともに新たな

“ほほえみの輪”を広げていければと思います。ありがとうございました。これからもよろしくお願ひします。
 若婦人専門委員会代表 小柳陽子

仏婦推進者養成研修会

日時 十二月八日(水)
 場所 本願寺備後会館
 講師 安芸教区仏教婦人会連盟委員長
 米田恵子先生
 テーマ 「仏教婦人会活動の今」

仏教婦人会の各単位会役員一三四名の参加のもと、推進者養成研修会が行われました。

この度は安芸教区仏教婦人会連盟の委員長、米田恵子さんをお招きし、座談会形式という初めての試みで仏教婦人会活動の現状と課題について学びを深めました。

午後からは六班に分かれてお互いの仏婦活動の現状と課題について班別討議。全体会では各班からの発表が行われました。安芸教区の様々な取り組みを聞かせていただき、備後教区も各単位間の情報の交換や悩みの共有が出来、貴重で有意義な研修会となりました。



秋季勤式研修会



去る十一月十九日(火)本願寺備後会館にて秋季勤式研修会(組勤式研修会、特別法務員研修会・協議会)が行われました。

講師は本山両堂・大谷本廟の仏華を立てておられる開明社「花新」の水本敏雄師をお迎えし、仏華(立華)について講義をいただきました。

午前は講義とともに先生が三種の立て方(本格的な立て方、受け筒を用いた立て方、つかみ挿し)を実際



なお、この講義をビデオに収めておりますので興味をお持ちの方は教務所へお尋ねください。

に行われ、午後より先生に習い、受け筒の製作や立華の実習を参加者それぞれに行いました。仏華は各寺においてそれぞれご苦労のあることでもあり、参加者からは積極的に質問、意見が交わされる研修会と成りました。



専門委員会 だより

基推第4部会 法式・法務専門委員会

スリーフレット作成に向けて

備後教区内、門信徒の法式のあり方を見てもみずと、厳しいようですが、作法は推行政化し、まだまだ迷信、俗信にとらわれ、本来の有るべき姿が見失われている事を深刻に受け止めて行かなければなりません。法式・法務専門委員会では、本年度も法式を通して門信徒のご教化をめざし協議を重ねていきたいと思っています。

基推第3部会 少年教化推進専門委員会

是非ともアンケートにご協力を!!

今年度、「全寺院サマースクール実施計画案」試行に伴い、新しく立ち上がった少年教化推進専門委員会。皆様のお陰をもちまして、無事サマースクールを実施することができ、今後の少年教化活動を進め

活動の中心項目として、門信徒を対象とした配布資料『なるほど仏事』(リーフレット等)を作成しています。その第一弾として、「初めての御法事(法事の進め方)」について検討中です。次年度には、各寺院のお手元に届きますので、伝道教化に役立てて頂ければと思います。『なるほど仏事』は、わかりやすく、読みやすく、様々な研修の資料となるものであり、単年度で終わることなく継続事業として計画し実行していきたいと思っています。

備後教区内の法式が正常化し、統一化出来るよう委員一同研鑽する所存です。 今後の活動としましては、現在、教区内少年教化活動の現況をまず把握するべく、全ヶ寺へ向けて、「アンケート調査」を実施させていただいております。皆様のお手元にも用紙がございます。この資料を元に、次年度へ向けて更なる活動を推し進めて参る所存でありますので、何卒アンケートにご協力いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

**同朋講座**

予報

期日 2005(平成17)年1月24日(月)13:00～
 会場 本願寺備後会館 本堂
 講師 13:20～ 徳田 靖之 先生(徳田靖之法律事務所)
 ハンパ病国家賠償訴訟熊本裁判弁護団長
 14:30～ 金 泰九 先生
 ハンパ病国家賠償訴訟岡山裁判原告団長

**僧侶研修会**

予報

期日 2005(平成17)年2月22日(火)10:30～
 会場 本願寺備後会館 本堂
 テーマ 『～伝道～』
 講師 10:45～ 前 登志夫 先生(大乘歌壇選者)
 13:00～ 原田 宗司 先生(教学伝道研究センター研究員)

**布教団 部門別・基幹運動研修会**

予報

日時 2005(平成17)年2月28日(月)10:30～
 会場 本願寺備後会館 本堂
 部門別発表 小武 正教 先生(団員・三次組西善寺住職)
 研修会講師 橋本 朗仁 先生(中央基幹運動推進相談員)

**子ども大会・ウォークラリー**

予報

日時 2005(平成17)年3月28日(火)10:30～
 会場 倉敷市 美観地区
 集合場所ならびに開・閉会式会場
 備中里組 教善寺(倉敷市船倉町1604)

● 上記4つの研修会・大会につきましては、
 日が近づき次第、詳細なご案内をさせていただきます

**全国真宗青年のつどい**

期日 2005(平成17)年7月30日(土)～31日(日)
 会場 山口県長門市(『金子みすゞ』ゆかりの地)
 テーマ ～みんなちがってみんないい～

参加・
 スタッ
 ツプ募
 集中

次年度は、山口で全国真宗青年のつどいを開催されることになりました
 山口教区の仏青連盟さんが中心となってくださいますが、中四国ブロックの主
 催による開催ですので、備後教区内若手僧侶さんをはじめ、一人でも多くの寺
 族・特にご門徒の皆さまにご参加・ご協力を頂き仏青を盛り上げていきたいと存
 じます。なにとぞ皆さま、ご助力くださいますようお願い致します！！

門徒総代会研修会

(南部)

日時 十月二十六日(火)

場所 神石組 法専寺

参加者 一〇二名

(北部)

日時 十月二十七日(水)

場所 比婆組 妙延寺

参加者 七十七名

講師



山口教区 美祿東組

光明寺 高橋廣爾 先生

南部・北部合わせて一七九名の参加者のもと、高橋廣爾先生からお寺の屋根がなぜ高いのかということの本質をお話いただき、そして総代、住職自らがお念仏のお法りを聴聞し、伝えていく役割を担っていることをお話いただきました。

講題 「御同朋の社会をめざして」 ~お寺の屋根はなぜ高いのか~



神石組 法専寺



比婆組 妙延寺

先般、十月二十日(水)久井文化センターで、アフガニスタンの医療支援でご活躍の中村哲さんをお迎えして「第十回記念平和の集い」を開催する予定でありましたが、前日に大型台風が中国地方上陸確実との報

が入り、急遽延期とさせていただきますました。天災とは言え、「平和のつどい」を心待ちにしていただいていた皆様に深くお詫び申し上げます。

又、開催に向けてご尽力をいただきました皆様、特に引受け三組(御調東・御調西・世羅)の皆様には地元開催ということで準備段階からかわっていただき、また参加者も特に力を入れて募集していただきましたのに誠に申し訳ありません。重ねてお詫び申し上げます。

今後とも「平和のつどい」をはじめ、教区事業開催につきましては、引き続きご参加・ご支援をいただきますようお願い申し上げます。

備後教区教務所長

高田 英彦

備龍会からの行事案内

●仏教教養講座

日時 三月八日(火)

午後一時〜四時

場所 教務所

ドキュメンタリー映画

「土徳―焼跡地に

生かされて」(118分)

監督 青原さとし(釈慧水)

原爆で家族5人を亡くした父・淳信さん(二〇〇〇年逝去)の人生を軸に、お寺をめぐる周囲の人々の姿を通して、戦前から現在の広島風土を描いた作品です。上映後、監督との話し合いを予定してあります。

●親善ソフトボール大会

日時 三月三十日(水)

午前十時より

場所 御調町(尾道市)

ソフトボール球場

たくさんの方の参加を

お待ちしております。

「平和のつどい」延期のお詫び。

事 雑記帳

仏華について



仏前に花など供えて荘厳することを供華(くげ)といいます。

元来、お華を供える様式には印度に二つの法があったように『大経』には「散華焼香」と散華供養のことが説かれており、また『小経』には「常に清白をもって、おのおの衣被(えび)に衆の妙華を盛り他方の十万億の仏を供養する」と盛華供養のことが説かれています。

仏華として特に馴染みの深い立華の様式はインドではほとんど用いられなかったようですが、前述の二法では花を永く保持するのが困難なため立華の法が現れたようです。『法苑珠林』には「衆僧銅甕(あかがめ)に水を盛り、其華・茎を水に浸し萎(え)ざらしむ」等とあり、中国では随分立華の法が用いられたようです。また、『考信録』には「此方俗礼に、瓶華を用いる故に、供仏もこれに准ずる随方毘尼ならん」と、真宗も立華をもって仏前供華の方法と

なったのであろうとし、これに補足して「すでに散華の代りなるときはただ葩ある草木のみを供すべきに、松・桜等の華なき類をも用いるは是も国風に准ずるか」とあります。

既に中国で行われていたこの法が、日本に入り、立華の国風と一致して、いよいよ盛んになり、真宗でもこれを大いに用いるようになったでしょう。

他宗では紙・木・金などでできた造花を用いる様式も、みえるようになりませんが、真宗においては、生花をもって仏前の荘厳としてきました。生花を通して、無常の理を聞いてきたからではないでしょうか。

『百通切紙』に「一義に九十箇条を引いて華一度切りたれば命切れたる如し、しかれども少しの水に養われて生木の如くなり。我等生まれたるは死の始めなれば、早死すべきなれ共、無常の使の来る迄は儚ぎ命永らえる体を思うて、愈愈無常を知れとの催促なり」「今一義に、仏前の荘厳によりて、信心を発す、生華によりて殊勝に存じ、『小経』の七重宝樹、『大経』の七宝諸樹を思い出して欣求の心強くおこすべし」とその味わいが述べられています。

勉強会 研究会 教化活動 その他

わのいのみ

その3 鴨川北組勉強会



今回お届けするのは、鴨川北組勉強会です。

この勉強会は一九九九年四月二日〜二二日、ご門主様の鴨川北組へのご巡教をご縁に、何か形として残そうと、始まりました。昨年度はテキストに『連研ノートD』を使用し、今年度からは直接、聖典にふれ『正信偈』をいただいております。

毎月、一回二時間・正信偈のお勤め・講義・お茶を飲みながらの質疑・確認・讃嘆・四方山話などの内容です。

加茂町、照専寺の門徒会館で、僧侶七名、ご門徒四〇名が、毎月第三金曜日一九時半〜二一時半(年二回)、ときには盛り上がり、アルコールも入り延長戦もあるそうです。

とにかく肩ひじを張らずに、特に後半はワイワイ、ガヤガヤの中にも自分の暮らしと重ねながらの勉強会ですから、どなたでも気軽にお越し下さいとの事。

連絡先 鴨川北組 寺 〒720-2411 福山市加茂町北山 2430-2
照専寺 TEL 084-972-8151

樹木はみな 空に向かって 伸びている

生きて生かされ 生かされ生きている

名もない野の草は 億年かけて 一つの花を咲かせる

皆さんの心に響いた言葉を教務所までお寄せください



教区月報

9月

- 1日 賦課基準等調整常任委員会
- 3日 同朋三者懇話会(広島)
- 5日 若婦専門委員会(ほほえみの会)
- 6日 組織教化活性化専門委員会
- 10日 少年教化推進専門委員会
- 10日 教区勤式練習会
- 11日 会館常例法座(平山義文師)
- 14日 第1部会(平和のつどい会場視察)
- 15日 護持口数調整委員会
- 24日 寺婦三役会
- 27日 賦課基準等調整常任委員会
- 28日 仏婦役員会
- 30日 常備会
- 30日 災害対策委員会

10月

- 1日 サマースクール実動班反省会
- 4日 仏婦ダーナ委員会
- 4日 組長研修旅行(長崎 4日まで)
- 6日 連研のための研究会
- 7日 臨時教区会
- 8日 寺婦勉強会
- 8日 教区勤式練習会
- 11日 会館常例法座(佐藤知水師)
- 16日 ほほえみの会研修会(円超寺 17日まで)
- 18日 会館責役・門徒総代会
- 19日 秋の教区勤式研修会
- 20日 平和のつどい(くい文化センター)
- 21日 少年教化推進専門委員会
- 21日 少年連盟役員会
- 22日 賦課基準等調整委員会
- 26日 門徒総代会研修会【南部】(神石組法泉寺)
- 27日 門徒総代会研修会【北部】(比婆組妙延寺)
- 28日 仏婦・寺婦基幹運動研修会
- 31日 常備会

11月

- 2日 ビハーラ研修協議会
- 2日 教区報専門委員会
- 4日 基推第4部会
- 4日 第4部会所掌各専門委員会全体会
- 5日 災害対策委員会

- 8日 仏婦役員会
- 8日 災害対策委員会
- 8日 法式法務専門委員会
- 8日 賦課基準等調整小委員会
- 11日 会館常例法座(千葉隆盛師)
- 12日 基推第2部会
- 15日 基推常任委員会
- 16日 勤式練習会
- 17日 基推正・副会長会議
- 20日 仏婦若婦人研修会(南部)
- 21日 仏婦若婦人研修会(北部)
- 22日 常備会
- 26日 門徒推進員のつどい
- 27日 仏婦会館おみぎ
- 30日 会館報恩講

12月

- 5日 若婦専門委員会
- 6日 法式法務専門委員会
- 8日 仏婦推進者養成研修会
- 10日 基推第1部会
- 11日 会館常例法座(真澄慎一師)
- 20日 法式法務専門委員会
- 21日 基推臨時総会
- 22日 組長会
- 24日 布教団役員会
- 28日 午後より宗務納め(7日まで)

1月

- 8日 宗務初め
- 11日 会館常例法座(法正良映師)
- 24日 同朋講座
- 24日 少年連盟役員会
- 28日 ビハーラ研修・協議会
- 31日 同朋三者懇話会

2月

- 1日 寺婦研修旅行(2日まで)
- 7日 会館休館日(8日まで)
- 10日 寺婦勉強会
- 10日 勤式練習会
- 10日 基推常任委員会
- 11日 会館常例法座(深水顕真師)
- 22日 僧侶研修会
- 24日 基推研修旅行(26日まで)
- 28日 布教団部門別・基幹運動研修会

3月

- 6日 仏社総会
- 10日 勤式練習会
- 11日 会館常例法座(山本耕嗣師)
- 28日 子ども大会「ウォークラリー」

今後の予定

得度許可

おめでとう
ございます!!
(敬称略)

深津組 信行寺

清水坊 保人 (保人)

沼隈西組 浄泉坊

佐々木 翔陽 (翔陽)

御調東組 菩提寺

大塚 朋法 (朋法)

(平成十六年 九月十五日付)

教師授与

おめでとう
ございます!!
(敬称略)

比婆組 圓正寺

伊達 崇史 (崇史)

世羅組 真徳寺

佐藤 寛之 (寛之)

(平成十六年九月三十日付)

敬 弔

お悔やみ申
し上げます
(敬称略)

芦田組 光圓寺

前坊守 小倉 寛子

(平成十六年十月十六日叙)

香典返礼

ありがとうございます
ございます

鴨川組 金蔵坊様

沼隈南組 宝福寺様

芦田組 光圓寺様

以上の方々より香典返礼を
頂きました。

ご確認ください

下記の通り合併がございました。
郵便番号・電話番号の変更はありませんが、古い住所での郵便配達はいずれできなくなりますので、住所録等の変更のある方はご確認ください。

【広島県】

- (1) 世羅郡世羅町 → 世羅郡 世羅町
- // 世羅西町 → //
- // 甲山町 → //

- (2) 神石郡油木町 → 神石郡 神石高原町
- // 神石町 → //
- // 豊松村 → //
- // 三和町 → //

【岡山県】

- 川上郡成羽町 → 高梁市 成羽町
- // 備中町 → // 備中町
- // 川上町 → // 川上町
- 上房郡有漢町 → // 有漢町

皆様の寺報募集!!

皆様のお寺で寺報を作っておられませんか?もし、作っておられましたら、是非、教務所までお送り下さい!教務所ロビーに、閲覧ファイルを設けておりますので、そこで、皆様のお寺をご紹介しますことができます。

年末年始会館休館日
 十二月二十八日(木)午後から
 一月七日(土)まで

会館休館日
 一月七日(月)～八日(火)

本願寺備後会館の年末年始休館日並びに二月会館休館日をお知らせいたします。

編集後記

報恩講の季節です。いかがお過ごしでしょうか?
今年はずいぶん暖かいです。日中は半袖でも汗ばむ日もあります。なんだか年々暖かくなるような気もしますが、やはり地球温暖化の傾向があるのでしょうか?それともハワイが太平洋をかえて日本に近づいて来ているのでしょうか?

それはともかく、相次ぐ未成年者略取、親子の殺し合い、今までになかったような犯罪、年金問題、国力の低下、環境問題など、多方面の問題が解決する間もなく山積みされていくご時勢です。親鸞聖人ならどうご覧になるでしょうか?「どんどんひどくなるなあ」と悲しんで下さるでしょうか?それとも「わしの時よりマシ」とお思いになるでしょうか?
末法の世で浄土真宗に出偶われ、それを伝えてくださった聖人に思いを馳せながら報恩講をお勤めさせていただいております。
ただお念仏の声だけは小さくなっていかないよう張り上げながら。

(M・I)